



JTUC-aomori

No.406 2023年11月

れんごろう 青森

発行 日本労働組合総連合会
青森県連合会(連合青森)
発行人 中野 隼 編集人 堤 史子
青森市本町3丁目3の11
青森県労働福祉会館内
TEL (017)017-0551
FAX (017)017-0553
URL <http://aomori.jtuc-rengo.jp/>
月1回発行 1部10円
(組合員の購読料は会費の中に含む)



連合青森第19回定期大会

不確実性が増している昨今だからこそ、連合運動強化を！

連合青森第19回定期大会は『社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう～仲間の輪を広げ 安心社会をめざす～』をスローガンに10月27日(金)13時30分から、青森県労働福祉会館で役員、代議員など約130名が出席し開催された。

主催者あいさつに立った塩谷進会長は、新型コロナウイルス感染症で制限されていた対面型の活動から『face to face』へと基本の取り組みに戻り、連合運動を更に継承・発展させると所信を述べた後、春季生活闘争、政治、人財育成・組織拡大の3点について語った。

塩谷会長は、「賃上げを上回る物価上昇となっている現在、今年の賃上げの成果を来年、再来年につなげ、『仲間づくり』と連動させ働く仲間を広げていかなければいけない」と強調した。政治・人財育成に関しては「物価高騰の中、生活困窮している人たちに寄り添った政策実現が必要であることから、国民の声を国政に届けるため、支持政党に対し組織一丸となって闘える体制づくりを求

主な議案として『2024～25年度運動方針(案)』、『2023年度一般会計収支剰余金の処理(案)』、『2024年度予算(案)』等を確認したほか、第18期役員を選出を行った。



中野 隼 事務局長

めていく」「組織の生命線といえる組織拡大とあわせ、次代を担う役員の確保・育成も喫緊の課題と位置付け最重視して取り組みを進めなくてはいけない」と意気込みを語った。

続いて、連合本部あいさつ、来賓あいさつに入り、連合本部則松佳子副事務局長は春闘、ジェンダー平等・多様性、社会的対話の促進、政治の4点について述べ、「社会的セーフティネットの脆弱性が露呈し不確実性が増している昨今こそ、連合の出番と考える」と訴えた。

次に『2023年度一般活動経過報告、会計報告、監査報告』が述べられた。



連合則松副事務局長

議事に入り、「多様な就労者を含めた集团的労使関係の構築・強化」や「政策実現に向けた政治活動の推進」、「支え合い助け合い運動の推進」などを盛り込んだ『2024～25年度運動方針（案）』、『2023年度一般会計収支剰余金の処理（案）』、『2024年度予算（案）』が提起され採択された。この経過報告に対する質疑では、青森県電力総連若本勝也代議員から推進分野2：政治活動の推進について賛成の立場で意見があった。若本代議員は「現在、県議会において組織内議員は電力総連からの4名となっているが、組織人員の減少など従前たる状況に今はなく、今後、組織内議員がいなくなることも考えられる。連合青森として組織内議員の必要性を波及しつつ、連合青森の存在価値を高める取り組みの強化をお願いする」と要望があった。

第4号議案『第18期役員を選出』では副会長に佐々木徹（U Aゼンセン）、石橋敏樹（J P労組）、對馬茂文（交通労連）、事務局長に中野隼（J P労組）が新しく就任し、他12名の新役員を含め45名が選出された。

大会最後、「すべての仲間にとって「必ずそばにいる存在」として、組織全体で思いを一つにし、労働組合の社会的価値を広く訴えながら、力強く運動を進めていく」とした『大会宣言』を採択し、塩谷会長の音頭でガンバロー三唱を行い、盛会裡に終了した。

決定された『運動方針』は右記のとおり。

また大会後半、『連合・愛のキャンパ』2023年度地域助成団体に選ばれた3団体（青森県チェアスキー協会・東北町サポートピノキオ・十和田こども食堂実行委員会）への贈呈式を行った。



連合運動の更なる
継承・発展を誓う



安心社会をめざし
団結ガンバロー三唱

- 重点分野 1. すべての働く仲間をまもり、つなぐための集团的労使関係の追求と、社会に広がりのある運動の推進
- 重点分野 2. 社会に広がりのある運動の推進、連合青森「笑顔と元気のプラットフォーム」の構築
- 重点分野 3. 安心社会とディーセント・ワークをまもり、創り出す運動の推進
- 重点分野 4. ジェンダー平等をはじめとして、一人ひとりが尊重された「真の多様性」が根付く職場・社会の実現
- 推進分野 1. 社会連帯を通じた平和、人権、社会貢献への取り組みと次世代への継承
- 推進分野 2. 健全な議会制民主主義と政策実現に向けた政治活動の推進
- 推進分野 3. 連合青森と関係する組織との相乗効果を発揮し得る人財の確保・育成と労働教育の推進
- 推進分野 4. 運動分野を支える基盤強化



第18期役員

連合青森第18期役員

会長

塩谷 進 (情報労連青森県協議会特別執行委員)

会長代行

山内 裕幸 (運輸労連青森県連合会特別執行委員)

副会長

佐々木 徹 (U Aゼンセン青森県支部支部長)

佐藤 英司 (自治労青森県本部中央執行委員長)

金沢 秀樹 (青森県電力総連会長)

石橋 敏樹 (J P 労組青森連絡協議会議長)

関 保 (運輸労連青森県連合会執行委員長)

高橋 博幸 (情報労連青森県協議会議長)

對馬 茂文 (交通労連青森県支部)

事務局長

中野 隼 (J P 労組東北地方本部特別執行委員)

副事務局長

武部千賀子 (U Aゼンセン青森県支部参与)

工藤 公嗣 (自治労青森県本部中央常任指導員)

上平 裕貴 (青森県電力総連特別執行委員)

秋田谷宗孝 (交通労連青森県支部特別執行委員)

玉田 裕明 (交通労連青森県支部特別執行委員)

新川 優 (連合青森)

執行役員

小笠原裕介 (自動車総連青森地方協議会議長)

小川 辰也 (電機連合青森地域協議会議長)

石崎 尚人 (基幹労連青森県本部委員長)

西野 博文 (全駐労青森地区本部書記長)

坂内 利行 (フード連合青森地区協議会事務局長)

沢辺 毅 (J R 総連青森県協議会議長)

小森 幸広 (私鉄青森県連合会)

佐々木 徹 (紙パ連合青森県協議会議長)

甲斐 忠行 (全日本海員組合八戸支部支部長)

七尾 和哉 (全水道青森県支部副委員長)

本堂 隆 (国公総連青森県協議会副委員長)

袴田 昭大 (J E C 連合青森地連事務局長)

漆畑 清輝 (自治労連青森地方協議会議長)

成田 篤哉 (森林労連青森県協議会事務局次長)

阪井 博史 (政労連青森県協議会議長)

田村千代子 (日教組青森県教組特別支援教育部長)

野坂 聡子 (U Aゼンセン青森県支部特別運営評議員)

根上 要 (自治労青森県本部中央執行委員)

船橋 麻子 (青森県電力総連)

曲田 明香 (J P 労組青森連協女性フォーラム議長)

三上 和子 (運輸労連青森県連合会執行委員)

今泉 景花 (情報労連青森県協議会幹事)

特別執行役員

高谷 宏慈 (青年委員会事務局長)

横山 裕子 (女性委員会代表幹事)

赤間 義典 (連合青森)

堤 史子 (連合青森)

会計監査

棟方 剛 (自動車総連青森地方協議会副議長)


名古屋勇人 (東北労金労組青森県支部書記次長)

柿崎 寿光 (全労済労組青森分会分会長)

11月は
過労死等防止啓発月間

**実現しよう、
過労死等「0」**

～働き方を見直してみませんか～



こころとからだを、**チェック**してみませんか？

- 残業が続いている
- 夜勤など不規則な勤務が続いている
- 手待ち時間、仮眠時間が長いなど拘束時間が長い勤務が続いている
- 頻繁に出張がある、または長期間の出張が続いている

- ハラスメントなど、人間関係のストレスが多く精神的に負担感のある仕事だ
- 就業環境が十分に整っていない周囲のサポートがない、職場・家庭などを問わず、心を開いて話をできる人がいないなど
- きついノルマなど、精神的に緊張した状態が長く続く仕事だ

チェックが多い場合は要注意！
まずは相談してみませんか？

厚生労働省
こころの耳 相談窓口 ハラスメント悩み相談室

連合なんでも労働相談ホットライン

秘密
厳守

携帯・スマホ
OK

0120-154-052
フリーダイヤル いこうよ れんごうに



連合青森の今月の取り組みは、10月7日（土）に改定された青森県最低賃金898円を周知する街頭行動となった。

改定日の翌週10月10日（火）、青森市の「さくら野百貨店」前にて使用者に対し引上げの遵守、また労働者にも1時間898円以下で働くことがないように道行く市民に呼びかけた。

この最低賃金はパート・アルバイト等の非正規労働者を含む青森県内の全ての労働者に適用される。また派遣労働者には派遣元ではなく、派遣先の地域別最低賃金か、特定業種によっては産業別最低賃金が適用されることとなる。

※全国地域別最低賃金額は下記記載

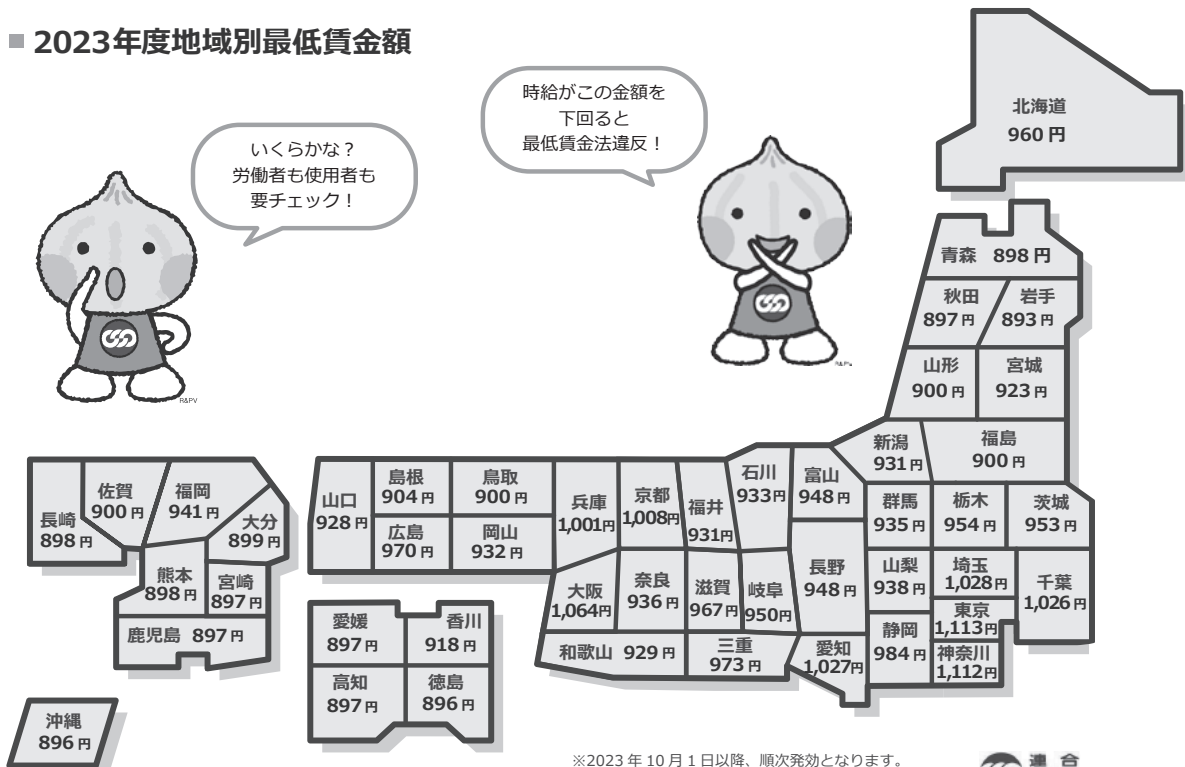


立憲県連・
升田世喜男代表代行も参加



県民社協会・
大澤祥宏会長も参加

■ 2023年度地域別最低賃金額



連合青森ホームページ
<http://aomori.jtuc-rengo.jp/>



連合青森facebook



かけがえのない食・緑・水を守り続けるという意識を！

第28回食・みどり・水のフェスティバル

連合青森は11月3日（金・祝）、青森市の「サンロード青森」イベントホールで「第28回食・みどり・水のフェスティバル」を開催し、組合員や一般市民など1,950名が来場した。

このイベントは本県の基幹産業である農業・林業などに関する環境問題に対応し、県民の関心を深め、「青森県のおいしい食べ物と水、豊かな自然を守り育て、地産地消を広げよう」という趣旨で連合青森加盟の関係労組（自治労、全農林、全水道、林野労組）により例年開催していたが、近年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止とされていたため、4年ぶりの開催となった。

フェスティバル開催に向け、組合員が春の田植えから稲刈りまで行い生産している「アジア・アフリカ支援米」のお披露目と発送式が行われ、多くの子供たちが飢えて苦しんでいるマリ共和国に向けて600kgが発送された。

開会にあたり連合青森山内裕幸会長代行は、「食と緑と水、それは私たちが生きていくうえで最も大切でかけがえのないもの。青森県の食料自給率は123%と全国第4位と高い水準ではあるものの、人口減少や高齢化により一次産業の担い手が減少しているのも事実。この青森県に住み、暮らす私たちだから出来ることを皆で意識するきっかけにしてほしい」と挨拶した。

ステージイベントでは「利き水コンテスト」や「森林クイズ」、「野菜の輪投げゲーム」などが行われ、各ブースでは長蛇の列ができた「餅つき大会」や「ゆるキャラふれあい」、「リース作り」や「外ヶ浜物産販売」、各労組が考案した「クイズラリー」など、たくさんのお子さんたちが参加し、大いに盛り上がった。

またクイズラリーに参加した方へは空くじなしのガラポン抽選会が行われ、青森市内の小学2年生の女の子に金賞のマルチクッカーが当たった。



全農林ブース
『餅つき大会』



森林労連ブース
『リース作り』



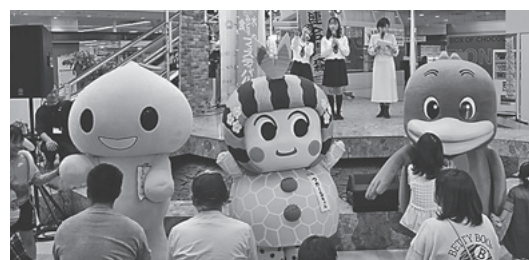
全水道ステージイベント
『利き水コンテスト』



全農林ステージイベント
『野菜の輪投げ』



自治労ブース
『外ヶ浜物産販売』



右からロッキーくん、つがるちゃん、ピットくん


2023年11月行動予定 11月10日現在

- 11月10日（金）18時30分むつ市
ホテルニューグリーン
「下北地協第35回定期総会」
- 11月11日（土）13時 県労働福祉会館
「青年委員会第34回総会・学習会」
- 11月11日（土）13時 県労働福祉会館
「女性委員会第31回総会・学習会」
- 11月17日（金）18時 五所川原市
プラザマリユウ
「西北五地協第35回定期総会」
- 11月17日（金）18時30分十和田市
上北地方教育会館
「上十三地協第35回定期総会」
- 11月18日（土）15時 八戸市三八労働会館
「三八地協第35回定期総会」

- 11月25日（土）～26日（日）
県内テストセンター
「ワークルール検定・2023秋」
- 11月27日（月）11時30分 さくら野青森店前
「れんごうの日街頭行動」
- 11月28日（火）15時 県労働福祉会館
「第1回四役会議」
- 11月29日（水）18時 弘前市
弘前パークホテル
「津軽地協第34回定期総会」


2023年12月行動予定

- 12月7日（木）15時 浅虫温泉椿館
「連合青森第3回最低賃金対策委員会」
- 12月8日（金）13時30分 県労働福祉会館
「第1回執行委員会」



愛のカンパ金 募集

「連合・愛のカンパ」は、人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の表現」に向け、社会貢献活動として取り組むものであり、NGO・NPO等の事業・プログラムへの支援を行っています。皆さまのご協力をお願い致します。



第一次集約 2024年1月31日（水）

最終集約 2024年6月28日（金）

振込先 【金融機関】中央労働金庫 本店営業部
【口座番号】（普通）8924434
【口座名義】連合愛のカンパ

助成支援団体募集


中央助成 海外や国内で救援・支援活動に取り組んでいるNGO・NPO等の事業・プログラムが対象で、連合に加盟する産業別組織（構成組織）から推薦された団体。

地域助成 連合組合員およびその家族、あるいは連合組合員OB・OGが運営に参加している、または地方連合会（連合の地方組織）が日常的な活動で連携しているNGO・NPO等の事業・プログラムが対象で、地方連合会から推薦された団体。

活動内容

1. 大規模災害などの救援・支援活動	5. 障がいのある人たちの活動
2. 戦争や紛争による難民救済などの活動	6. 教育・文化などの子どもの健全育成活動
3. 人権救済活動	7. 医療や福祉などの活動
4. 地球環境保全活動	8. 地域コミュニティ活動（レクリエーション活動を除く）
	9. 生活困窮者自立支援活動

応募期間：2024年1月5日（金）～3月29日（金）
応募方法：2024年度の申請書にご記入の上、必要書類を添えてご提出ください。中央助成は構成組織の推薦を確認の上、連合本部へ。地域助成は所在地の地方連合会「連合・愛のカンパ係」へ。詳細は連合ホームページの応募要領をご確認ください。（2024年度申請書については12月掲載予定）



連合・愛のカンパ 事務局

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11
日本労働組合総連合会 連帯活動局気付

連合 愛のカンパ



ろうきんアプリ & スマホ決済
キャンペーン

2023年4月1日～12月31日

キャンペーン期間中に、対象となるお取引をいただいた方に素敵な景品をプレゼント！
※本キャンペーンの詳細（対象取引や景品等）は、下記二次元コードからご確認ください。 2023年4月1日現在

東北労働金庫 ☎0120-1919-62 <https://www.tohoku-rokin.or.jp>

ろうきんアプリ & スマホ決済
キャンペーンの詳細はこちら▶



公式アプリ新登場

こくみん共済 NEWS
0223W005

安心の保障と生活応援であなたの暮らしを支える

こくみん Lifeサポート

～こくみん共済 coopのお役立ちアプリ～




ダウンロードは
←こちらから

こくみん共済
こくみん共済生活協同組合

青森推進本部
（青森県労働者共済生活協同組合）